

# アプローチ『めばえ』の実践

今回、赤川小学校の総合的な学習の時間をいただき、5回（計18時間）の授業を行った。ここでは実際に行った授業の内容とそのねらい、またそれによる児童たちの変化を含めた簡単な流れを説明する。

## 水に対する意識の変化

自分達が使っている水の量が世界的にみて使いすぎているということを実感する。

### 1 回目 生活用水



日常生活の水使用場面に注目したビデオを上映した後、自分の一日の水使用量を計算。その上で、世界の水事情について教える。

実感

## 自分達の生活を見直す

生活排水が及ぼす自然への影響を理解し、実際に自分たちが出来る工夫を考える。

### 2 回目 生活排水



生活排水をキレイにするために使用する水の多さ、また及ぼす影響をソフトウェアを用い教える。その後、水を大切にするために出来る工夫を調

インパクト

## 受け身な情報

「水を大切にするために出来ること」を考えた。この段階では思うように生徒たちの自発的な案は出なかった。

## 自ら行動 印象に残す

水について自らが行動し目にすることで、勉強になり、印象に残る。また、赤川の水質を知る。

### 3 回目 水質調査



水質調査の実施。調査結果を赤川地域の地図にマッピングし発表することで知識を共有。

調査

## “水” への関心の高まり

## 活発な発案

授業終盤になると、児童達の自発的な発案が増えていた。

## 水の循環 赤川の理解

水の循環に必要な環境、森・土・浄水場が全て揃っている赤川。そこから郷土の理解を深める。

### 4 回目 郷土



他の地域の水質との比較、アニメーションを用い水の循環を見せることで赤川の理解につなげる。赤川地域の水に関する〇×ゲームの実施。

理解

## これからの“水”

今までの授業を踏まえ、これからの生活で水を守るために実際に出来ることを考える。

### 5 回目 復習・発展



今までの授業の復習。水に関する自分なりの工夫その理由を考えて発表、それを形に残すオブジェの作成。

考案

## 型にはまった発表



台本（テンプレート）を用いた発表

## 主体的な発表



児童自ら作成した画像を参考にし発表



自分の意見を自分なりに発表

## 発表にとりくむ姿勢の変化

## 発案の実践

赤川アイランド

## 赤川の未来のために

水を大切にするために出来ることを毎日取りもらい、行ったことを記入すると島がどんどんいくソフトウェア。授業が終わった後の1、中休みと放課後に実施した。



実